



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 澁澤倉庫株式会社

コード番号 9304 URL <http://www.shibusawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 笠原 伸次

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長

(氏名) 星 正俊

TEL 03-5646-7235

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	27,643	0.6	1,610	△1.4	1,434	△5.5	875	112.9
23年3月期第2四半期	27,489	16.6	1,633	385.8	1,517	542.8	411	177.6

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 476百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △317百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	11.52	—
23年3月期第2四半期	5.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	86,677		32,435			36.7
23年3月期	87,869		32,190			36.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 31,852百万円 23年3月期 31,621百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.50	6.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	53,700	0.9	2,940	1.2	2,530	△2.1	1,470	155.6	19.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P.3「2. (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	76,088,737 株	23年3月期	76,088,737 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	52,554 株	23年3月期	49,998 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	76,037,530 株	23年3月期2Q	76,040,954 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。
なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる事項については、添付資料P.3「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済活動は、東日本大震災により急激に落ち込んだものの、サプライチェーンの修復が進んだことなどにより、生産や輸出を中心に一部で持ち直しの動きがみられました。

物流業界においては、輸入貨物の荷動きは概ね堅調に推移したものの輸出貨物および国内貨物の荷動きが停滞したほか、不動産賃貸業界においては、都市部のオフィスビルの賃料相場が緩やかに下落を続けるなど、事業環境は厳しい状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、積極的な営業活動を展開するとともに、中期経営計画「SUCCESS 2012」に沿った事業戦略を進めてまいりました。物流事業においては、海外ネットワークの拡充や国内拠点の統廃合による合理化などを進めたほか、不動産事業においては、テナント満足度の向上および現有資産の付加価値増加に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は276億4千3百万円、営業利益は16億1千万円と、ともにほぼ前年同期並みとなりました。また、経常利益は、資金調達費用の増加などにより、前年同期比8千3百万円

(5.5%)減の14億3千4百万円、四半期純利益は、投資有価証券評価損の減少や連結子会社における債務免除益の計上などにより、同4億6千4百万円(112.9%)増の8億7千5百万円となりました。

当社グループのセグメントの概況は、次のとおりであります。

① 物流事業

倉庫業務は、保管料収入は前年同期を上回ったものの、荷役料が減収となり、営業収益は前年同期比1億6千9百万円(3.5%)減の46億1千5百万円となりました。

港湾運送業務は、輸出入荷捌業務は増収となった一方、在来船貨物に係る船内荷役業務が減収となり、営業収益は同4千2百万円(1.5%)減の27億5千9百万円となりました。

陸上運送業務は、海上コンテナ輸送を含めた輸配送業務の取扱いが伸長し、営業収益は同4億1千2百万円(3.1%)増の139億4千6百万円となりました。

国際輸送業務は、海上貨物の取扱いが減少したものの、航空貨物の取扱いが大きく伸び、営業収益は同1億2千7百万円(6.4%)増の21億2千2百万円となりました。

この結果、**物流事業全体**の営業収益は前年同期比2億8千万円(1.2%)増の242億5百万円となりました。営業費用は、貨物取扱いの増加に伴う作業費の増加などにより、同3億1千5百万円(1.4%)増の232億5千7百万円となりました。以上により、営業利益は、前年同期比3千5百万円(3.6%)減の9億4千8百万円となりました。

② 不動産事業

施設改修に伴う賃貸料の減額が解消され増収要因となったものの、電力不足に対応した節電対策が付帯収入の減収要因となるなど、営業収益は前年同期並みの33億7千9百万円となりました。営業費用は、光熱動力費の減少などにより、同5千3百万円(2.8%)減の18億4千4百万円となりました。以上により、営業利益は、前年同期比4千7百万円(3.2%)増の15億3千5百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、建物及び構築物ならびに土地等の減少等により、前連結会計年度末に比べ11億9千1百万円減少し、866億7千7百万円となりました。

負債につきましては、長期借入金が増加した一方で事業分離に伴い預り金の返還等を行ったことで前連結会計年度末に比べ14億3千5百万円減少し、542億4千2百万円となりました。

また、純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の減少等があったものの、当連結累計期間における四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ2億4千4百万円増加し、324億3千5百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末より0.7ポイント増加し、36.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、投資活動によるキャッシュ・フローの減少がありましたが、営業活動および財務活動によるキャッシュ・フローの増加により、全体で4億4千6百万円の増加となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、86億8千1百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の増加等があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上および減価償却費による資金留保等により9億5千3百万円の増加(前年同四半期比12億5千6百万円の減少)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出および事業整理による支出等があったため、45億9千万円の減少(前年同四半期比41億8千7百万円の減少)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の約定返済および配当金の支払いがあったものの、長期借入による収入があったため、40億9千4百万円の増加(前年同四半期比54億4千3百万円の増加)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間における業績が概ね計画通りに推移しておりますので、平成23年8月5日に公表した通期の連結業績予想を据え置いております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,540	6,256
受取手形及び取引先未収金	9,084	9,538
有価証券	3,200	4,153
その他	3,555	3,762
貸倒引当金	△13	△14
流動資産合計	22,367	23,696
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	32,241	31,219
土地	19,610	18,870
その他(純額)	2,224	2,253
有形固定資産合計	54,076	52,342
無形固定資産		
投資その他の資産	710	699
投資有価証券	8,603	7,927
その他	2,135	2,049
貸倒引当金	△46	△54
投資その他の資産合計	10,692	9,922
固定資産合計	65,479	62,964
繰延資産	22	17
資産合計	87,869	86,677

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	4,054	4,005
短期借入金	8,579	5,673
未払法人税等	313	564
引当金	695	574
その他	8,126	2,758
流動負債合計	21,769	13,576
固定負債		
社債	7,000	7,000
長期借入金	19,132	26,385
長期預り金	5,056	5,041
退職給付引当金	2,016	2,032
その他	703	207
固定負債合計	33,909	40,666
負債合計	55,678	54,242
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,847	7,847
資本剰余金	5,663	5,663
利益剰余金	17,630	18,277
自己株式	△18	△19
株主資本合計	31,122	31,768
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,175	770
為替換算調整勘定	△676	△687
その他の包括利益累計額合計	498	83
少数株主持分	569	582
純資産合計	32,190	32,435
負債純資産合計	87,869	86,677

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業収益		
倉庫保管料	2,461	2,469
倉庫荷役料	2,323	2,145
荷捌料	5,055	5,120
陸上運送料	13,528	13,940
物流施設賃貸料	443	435
不動産賃貸料	3,321	3,319
その他	355	212
営業収益合計	27,489	27,643
営業原価		
作業費	17,361	17,693
賃借料	1,185	1,117
人件費	1,620	1,641
減価償却費	1,334	1,258
その他	2,827	2,771
営業原価合計	24,328	24,482
営業総利益	3,161	3,161
販売費及び一般管理費	1,528	1,550
営業利益	1,633	1,610
営業外収益		
受取利息	9	10
受取配当金	138	133
その他	129	101
営業外収益合計	277	245
営業外費用		
支払利息	306	289
資金調達費用	—	70
その他	86	61
営業外費用合計	393	421
経常利益	1,517	1,434
特別利益		
債務免除益	—	115
特別利益合計	—	115
特別損失		
固定資産処分損	199	85
投資有価証券評価損	573	19
賃貸借契約解約損	40	—
特別損失合計	813	105
税金等調整前四半期純利益	704	1,444
法人税等	259	548
少数株主損益調整前四半期純利益	444	896
少数株主利益	33	20
四半期純利益	411	875

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	444	896
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△693	△406
為替換算調整勘定	△68	△12
その他の包括利益合計	△761	△419
四半期包括利益	△317	476
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△338	460
少数株主に係る四半期包括利益	20	16

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	704	1,444
減価償却費	1,404	1,320
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△25	9
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	11	15
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△86	15
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△122
受取利息及び受取配当金	△148	△143
支払利息	306	289
投資有価証券売却損益 (△は益)	△12	△0
投資有価証券評価損益 (△は益)	573	19
固定資産売却損益 (△は益)	△2	△4
固定資産除却損	12	38
売上債権の増減額 (△は増加)	△493	△454
仕入債務の増減額 (△は減少)	△465	△47
その他	914	△982
小計	2,691	1,396
利息及び配当金の受取額	147	139
利息の支払額	△316	△285
法人税等の支払額	△313	△298
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,209	953
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,322	△678
定期預金の払戻による収入	1,344	700
有形固定資産の取得による支出	△432	△1,889
有形固定資産の売却による収入	9	243
無形固定資産の取得による支出	△12	△36
投資有価証券の取得による支出	△15	△217
投資有価証券の売却及び償還による収入	22	18
関係会社株式の取得による支出	—	△1
出資金の回収による収入	0	—
貸付けによる支出	△38	△44
貸付金の回収による収入	41	35
事業整理による支出	—	△2,722
投資活動によるキャッシュ・フロー	△403	△4,590

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△11	0
長期借入れによる収入	672	9,031
長期借入金の返済による支出	△1,755	△4,684
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△228	△229
少数株主への配当金の支払額	—	△0
リース債務の返済による支出	△25	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,349	4,094
現金及び現金同等物に係る換算差額	△19	△9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	436	446
現金及び現金同等物の期首残高	7,381	8,234
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	243	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,061	8,681

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	物流事業	不動産事業	計				
営業収益							
外部顧客に対する営業収益	23,910	3,321	27,232	257	27,489	—	27,489
セグメント間の内部営業収益又は振替高	14	64	78	0	79	(79)	—
計	23,925	3,385	27,311	257	27,568	(79)	27,489
セグメント利益又は損失(△)	983	1,488	2,471	△5	2,466	(832)	1,633

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ場運営の業務であります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△832百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	物流事業	不動産事業	計				
営業収益							
外部顧客に対する営業収益	24,200	3,319	27,519	124	27,643	—	27,643
セグメント間の内部営業収益又は振替高	5	59	65	0	65	(65)	—
計	24,205	3,379	27,585	124	27,709	(65)	27,643
セグメント利益又は損失(△)	948	1,535	2,483	△21	2,461	(851)	1,610

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゴルフ場運営の業務であります。

(注2) セグメント利益又は損失(△)の調整額△851百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注3) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、ゴルフ場運営の事業を分離したことにより、報告セグメントに含まれない「その他」の資産が1,195百万円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。